



Ideas & Chemistry

2013.5.10

2012年度決算説明会資料



東洋紡株式会社

決算のポイント

12年度実績

フィルム事業の収益回復遅れなどにより、営業利益減も、当期利益は増加

- ▶ 液晶向けは、数量回復も単価低迷。包装用は、価格転嫁に遅れ
- ▶ 産業マテリアル、ライフサイエンスで下支え
- ▶ 下期に、フィルム、ライフサイエンスで新製品投入

13年度予想

原燃料価格などの環境変化を織り込み、13年度営業利益目標220億円
MG90活動（新製品含む拡販、コストダウン）により増益を確保

(億円)

	11年度			12年度			13年度
	上期	下期		上期	下期		(予想)
売上高	1,781	1,714	3,495	1,711	1,679	3,390	3,500
営業利益	110	73	183	76	94	171	220
当期利益	52	-6	46	27	49	76	95

目次

I

2012年度決算概況

II

2013年度予想

III

中期計画進捗

IV

訴訟

I . 2012年度決算概況

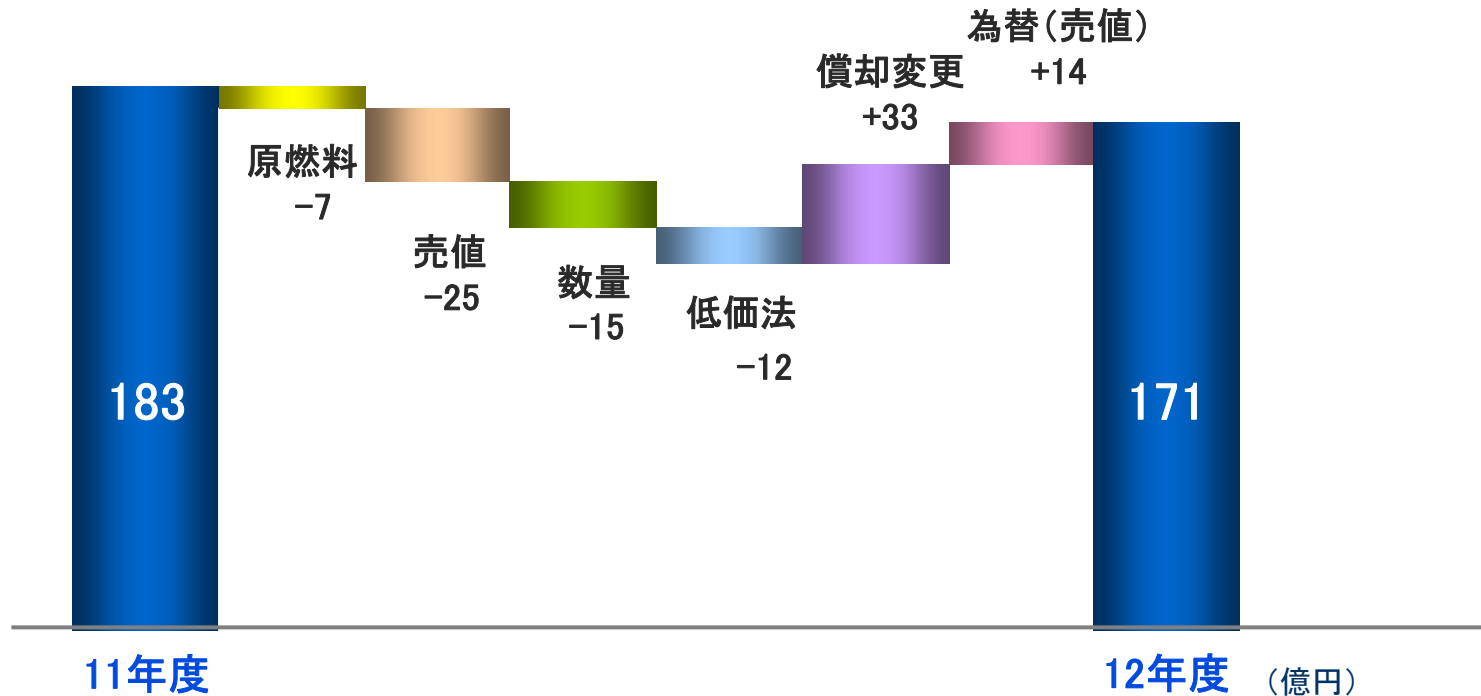
(1) 決算概要 ① PL・CF

(億円)

	11年度	12年度			増減		直近見通し (2013/2)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,495	1,711	1,679	3,390	-105	-3.0%	3,500
営業利益	183	76	94	171	-12	-6.7%	180
(営業利益率)	5.2%	4.5%	5.6%	5.0%	-	-	5.1%
経常利益	157	65	90	155	-2	-1.3%	150
当期利益	46	27	49	76	+31	+66.5%	64
EPS(円)	5.17	3.05	5.56	8.61	-	-	
減価償却費	195	64	68	132	-62	-32.0%	
設備投資	165	68	112	180	+15	+9.2%	
営業CF	142	146	158	304	+162	+113.9%	
為替レート(円/US\$)	79	79	87	83			
国産ナフサ価格(千円/KL)	55	55	60	58			

営業利益増減要因分析

【11年度→12年度】



	11	12				
		1Q	2Q	3Q	4Q	
円レート (¥/\$)	79	80	79	81	92	83
国産ナフサ (千円/kl)	55	61	50	56	64	58

② BS

(億円)

	12/3末	13/3末	増減
総資産	4,378	4,474	+96
うち現預金	96	266	+170
うち棚卸資産	776	710	-66
純資産	1,477	1,555	+78
自己資本	1,306	1,380	+75
(自己資本比率)	29.8%	30.8%	-
有利子負債	1,549	1,594	+45
D/E レシオ	1.19	1.16	-
(営業利益ROA)	4.2%	3.8%	

(2) セグメント別

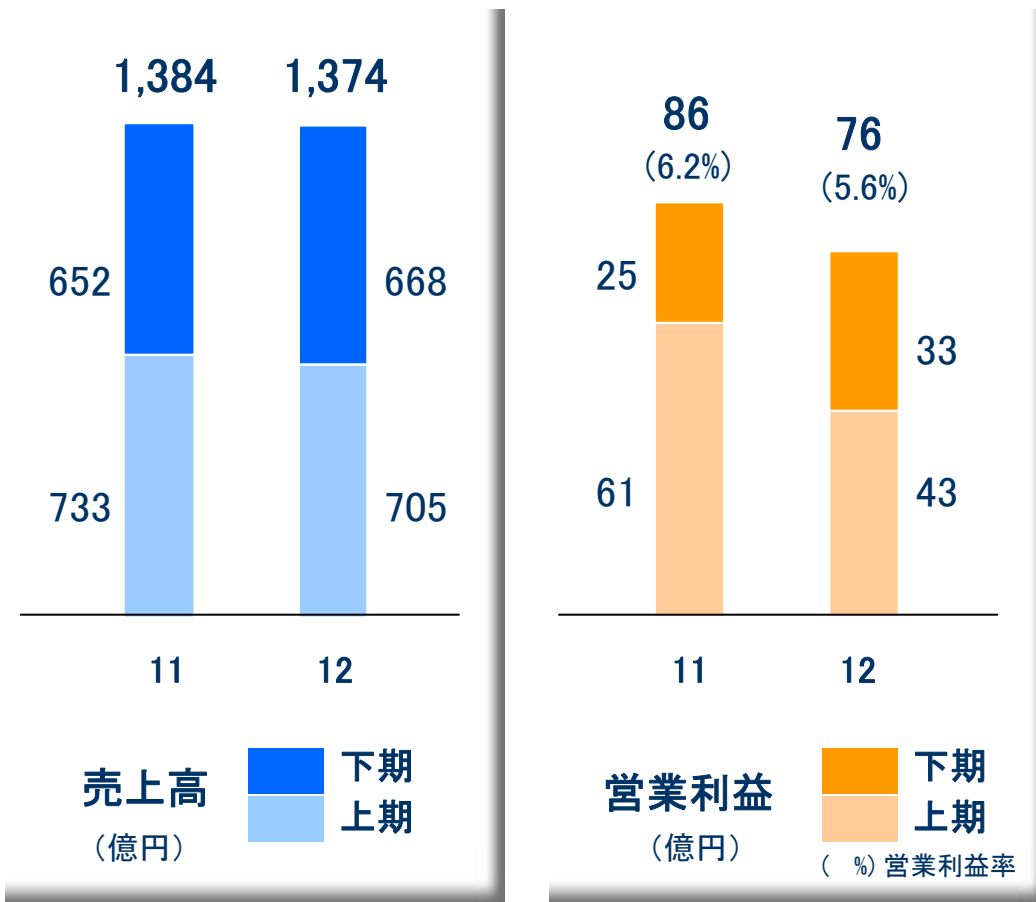
(億円)

	売上高				営業利益			
	11年度	12年度		11年度	12年度			
		上期	下期		上期	下期		
フィルム・機能樹脂	1,384	705	668	1,374	86	43	33	76
産業マテリアル	712	350	368	719	53	26	29	55
ライフサイエンス	266	126	122	248	41	16	26	42
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,362	1,182	1,159	2,341	180 7.6%	85 7.2%	88 7.6%	173 7.4%
衣料繊維	880	408	384	792	11	-5	7	2
不動産・その他	253	121	136	257	25	12	15	27
消去・全社	-	-	-	-	-33	-16	-15	-31
合計	3,495	1,711	1,679	3,390	183	76	94	171

① フィルム・機能樹脂

包装用フィルムは、価格改定遅れで苦戦

工業用フィルムは、液晶用途で数量回復、新製品の販売開始



● 包装用フィルム

- ・ 原燃料上昇時の価格改定遅れ
- ・ 新シュリンクフィルムは堅調

● 工業用フィルム

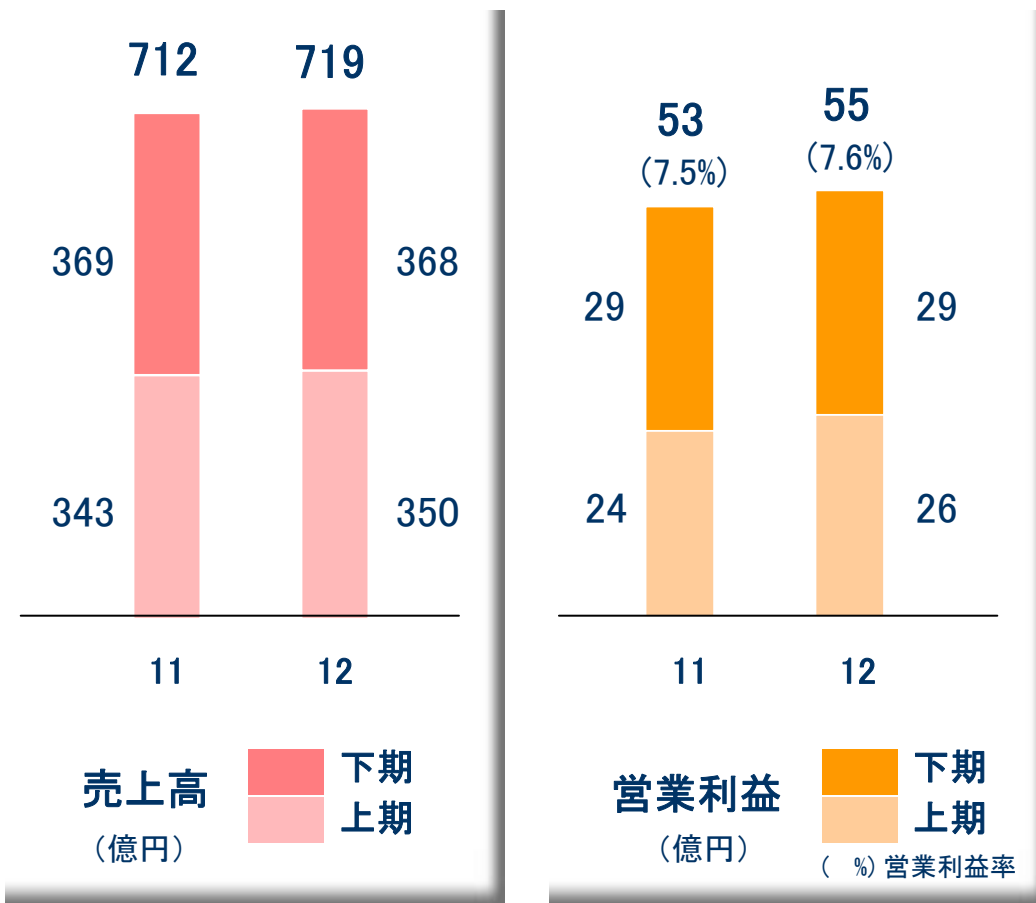
- ・ 液晶向けは単価低迷も数量回復
- ・ 新製品(SRF)の投入

● 機能樹脂

- ・ バイロンは中国向けで苦戦
- ・ 自動車向けは4Qより回復

② 産業マテリアル

エアバッグ、スーパー繊維は堅調
 タイヤコードは、ユーザーの調達構造変化により大幅減収



● スーパー繊維

- ・「ダイニーマ®」は3Qから数量回復
- ・「サイロン®」は耐熱材料など堅調

● 機能フィルター

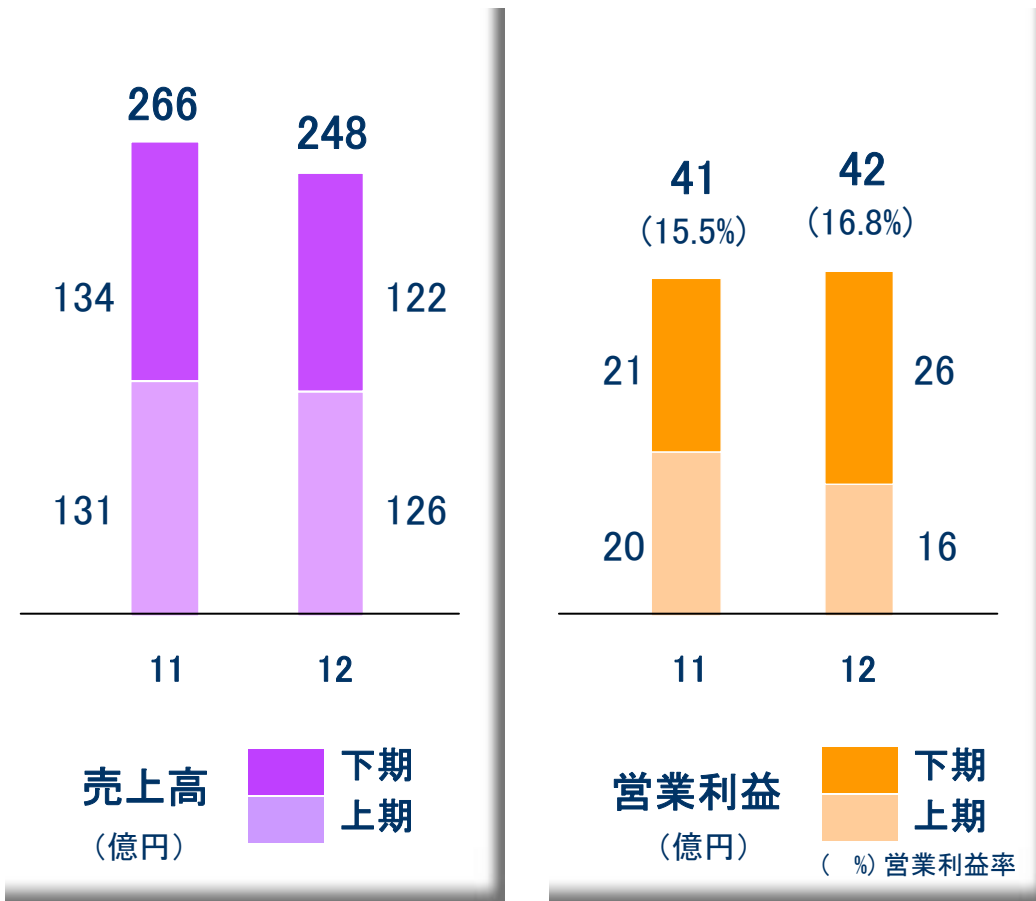
- ・VOC* 処理装置は中国市場で苦戦
- * 揮発性有機溶剤

● 自動車関連

- ・エアバッグは北米他の需要回復
- ・タイヤコード事業は撤退を決定

③ ライフサイエンス

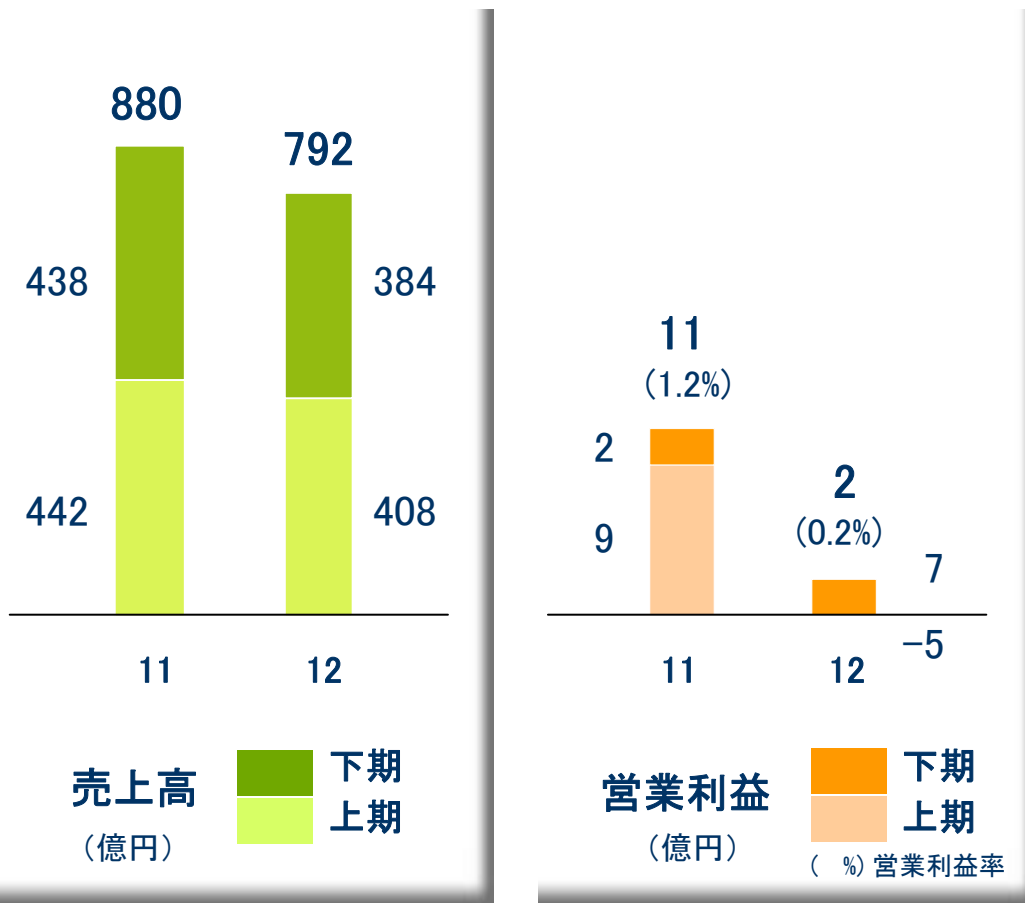
診断薬用酵素、医用膜は、2Qより回復
 新製品「ナーブリッジ™」(神経再生誘導チューブ)の販売開始



- **診断薬用酵素**
 - ・ 2Q以降で回復、円安も貢献
- **医薬品製造受託**
 - ・ 需要堅調
- **機能膜**
 - ・ アクア膜は新規案件向け出荷開始
 - ・ 医用膜は2Q以降堅調
- **医療機器**
 - ・ 「ナーブリッジ™」製造販売の承認取得

④ 衣料繊維

1Qの棚卸資産評価減により大幅減益
スポーツ製品順調、中東向け収益改善



● 東洋紡STC (繊維)

- ・ スポーツ向け機能素材順調
- ・ 中東向けトープは数量堅調、円安で収益改善
- ・ ナイロン事業は数量減

● アクリル繊維

- ・ 中国向け下期健闘

Ⅱ. 2013年度予想

(1) 業績予想

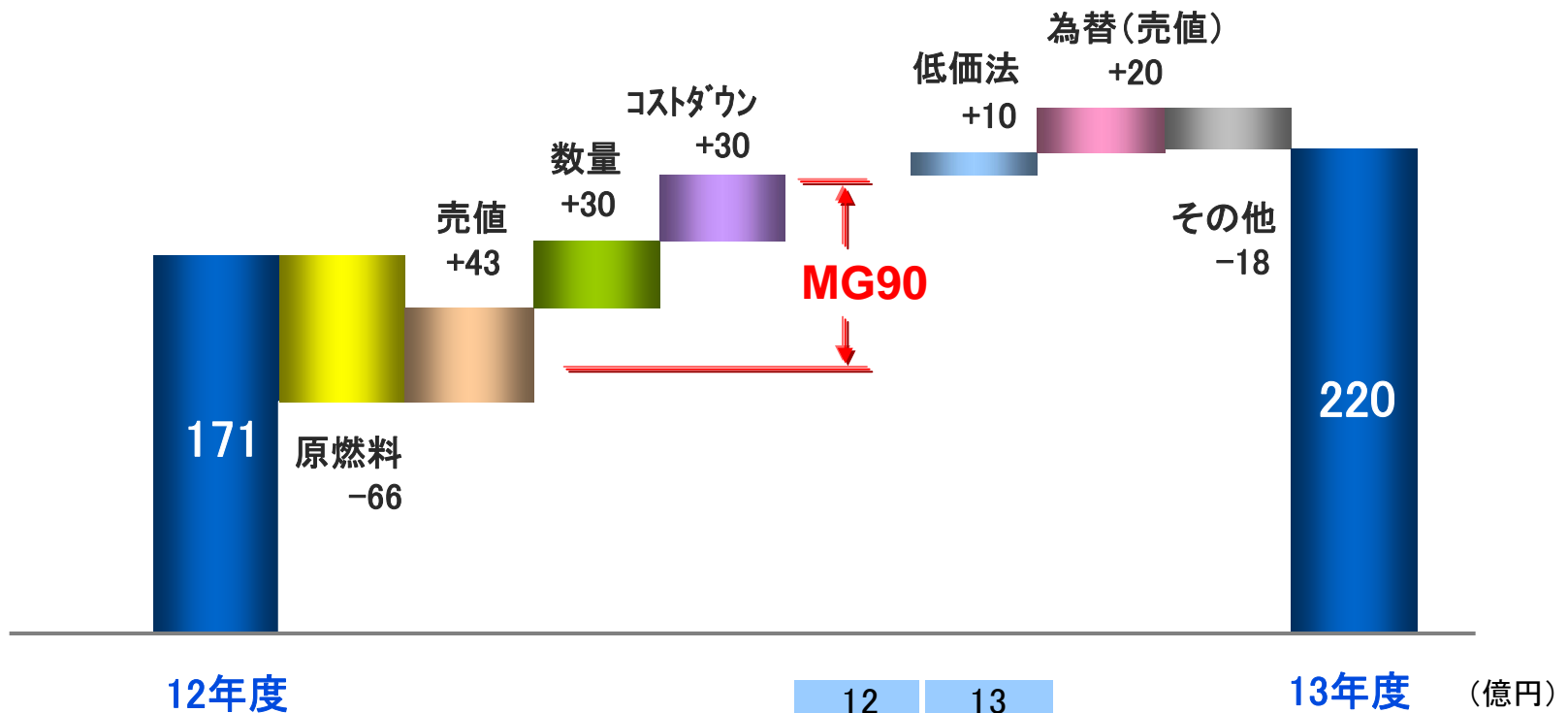
MG90活動（新製品含む拡販、コストダウン）を進め増益へ
営業利益220億円を確保

(億円)

	12年度実績	13年度予想	増減	
			金額	%
売上高	3,390	3,500	+110	+3.2%
営業利益	171	220	+49	+28.8%
(営業利益率)	5.0%	6.3%	-	-
経常利益	155	195	+40	+25.6%
当期純利益	76	95	+19	+24.4%
EPS(円)	8.61	10.69	-	-
減価償却費	132	140	+8	-
設備投資	180	180	-0	-
為替レート(円/US\$)	83	95		
国産ナフサ価格(千円/KL)	58	65		

営業利益増減要因予想

【12年度→13年度】



	12	13
円レート (¥/\$)	83	95
国産ナフサ (千円/kl)	58	65

(2) セグメント別業績予想

(億円)

	売上高		営業利益	
	12年度	13年度	12年度	13年度
フィルム・機能樹脂	1,374	1,440	76	96
産業マテリアル	719	730	55	65
ライフサイエンス	248	280	42	53
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,341	2,450	173 7.4%	214 8.7%
衣料繊維	792	800	2	11
不動産・その他	257	250	27	25
消去・全社	-	-	-31	-30
合計	3,390	3,500	171	220

Ⅲ. 中期計画進捗

アクションプラン

1) 能力増強 (M&A、アライアンス含む)

2) 海外展開加速

3) 製品ポートフォリオ改革 (新製品開発)

4) 資産効率の向上

アクションプラン進捗状況

1) 能力増強

(M&A、アライアンス含む)

案件	場所	稼動・立上げ 時期
<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド型フィルム製造設備 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><i>フィルム事業の生産体制強化</i></p>	つるがフィルム工場	'13/下
<ul style="list-style-type: none"> 注射剤製造設備 	大津医薬工場	'13/上
<ul style="list-style-type: none"> 機能性クッション材製造設備 「ブレスエアー®」 	敦賀機能材工場	'13/下

アクションプラン進捗状況

2) 海外展開加速

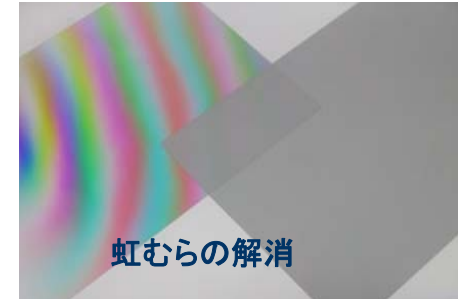


アクションプラン進捗状況

3) 製品ポートフォリオ改革 (新製品開発)

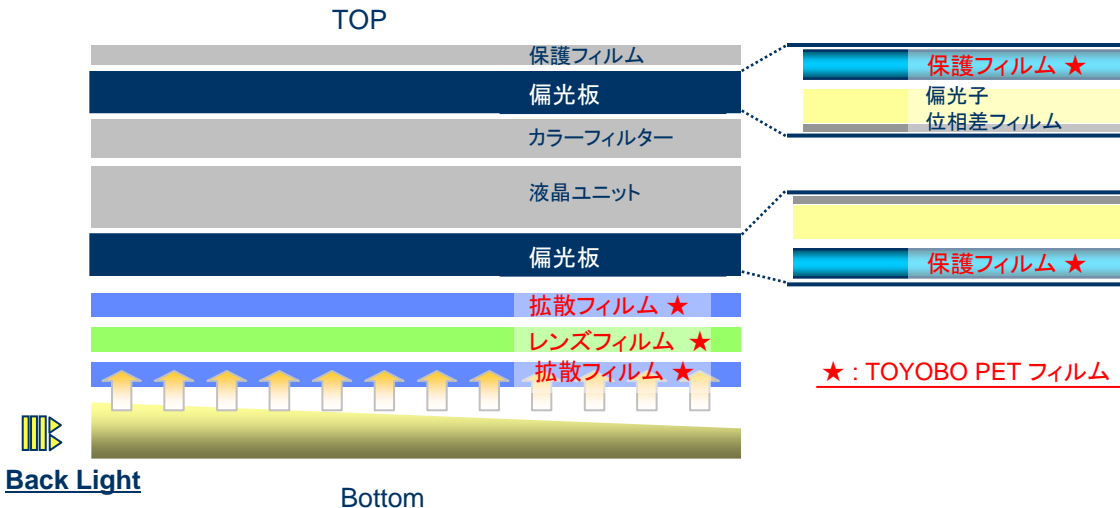
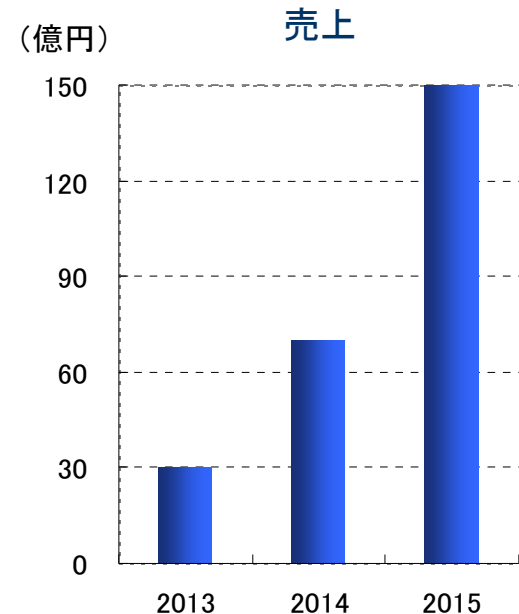
【工業用フィルム】

新しいLCD光学用ポリエステルフィルム (超複屈折フィルム)



- ・ LCD偏光板用保護フィルムへ展開
- ・ 2012年12月より韓国メーカーへ販売を開始
- ・ 既存ラインで生産可能

<2015年度 売上目標:150億円>



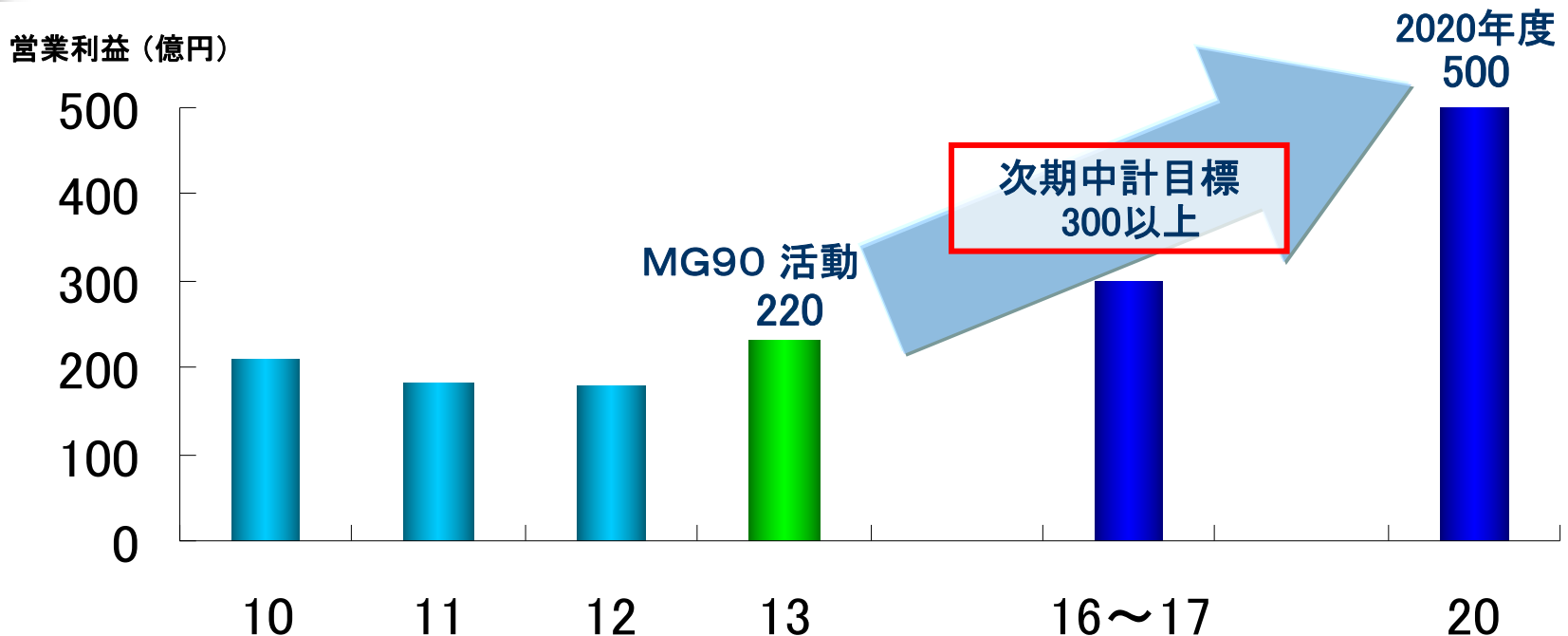
2020年に向けて（次期中計の位置づけ）

環境・ライフサイエンス・高機能で 社会に貢献する価値を、創りつづけるカテゴリー・リーダー

■ 「成長力」と「安定性」を備えた『強い会社』

『強い会社』：大きさではなく、変化に対応できる企業

- 2020年度：売上高 5,000億円、営利 500億円（ROA10%以上）、D/E=1.0倍
— 海外売上高：約1,500億円（2倍）、環境・ライフサイエンス分野：約1,900億円（3.5倍）



IV. 訴訟

訴訟関連

<概要>

- ① 03年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故:1件)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起

<解決済みの訴訟－いずれも和解による解決>

- ・購入者からの集団訴訟－2005年10月
- ・事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)－2006年から2007年
- ・ドイツ州政府からの訴訟－2009年2月
- ・防弾ベストメーカーからの訴訟－2011年7月(2件)および2012年3月

<訴訟状況>

(2013.5.9現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06～07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続	和解成立 (11年7月)	和解成立 (11年7月)	和解成立 (12年3月)	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件

本資料取扱い上のご注意

本資料中の予想、見通し、目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社